

# 常不輕菩薩の生き方に切り替えよう

【11月12月度の御金言】されば我が弟子等、心みに法華經のごとく身命もを（惜）しまらず修行して、此の度仏法を心みよ。南無妙法蓮華經、南無妙法蓮華經。

『撰時抄』（全291頁）

## 法華講信条

三寶院 HPQR コード

- 1, 謗法嚴戒の信仰を貫こう。(信心)
- 1, 行学絶へなば仏法はあるべからず。(行学)
- 1, ただ一言でも妙法を伝える勇氣を持とう。(破邪顕正)
- 1, どんなことがあっても憶持不忘の信心を貫こう。
- 1, 現世利益絶対否定の信心をしよう。(示教利喜)
- 1, 成仏大願、菩提心堅固の精進をしよう。
- 1, 御題目を唱える為にこそ生まれてきた自覚を持とう。
- 1, 噂に流されない、人に媚びへつらわない自立した信心をしよう。
- 1, 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

1991年2月13日掲載

☆ 妙法聞法の縁を大切に求道の信心をしよう。

世界中の、キリスト教、イスラム教、ユダヤ教、神道、各種民俗宗教、真言宗、禅宗、念仏宗、日蓮宗、天理教、霊友会、金光教、創価学会教、大石寺教等々の信仰者が、自分達の信仰する法が間違っていることに目覚め、この世の中から、それらの宗教施設も全部破壊され無くなり、世界中の人が御授戒を受けて、御本尊様を安置し、日蓮大聖人の法を信仰し、日蓮大聖人の法が世界宗教となり、信心修行に励むという考え方を【順縁広布】と言います。それはなかなか大変なので、とりあえず日本人全員を日蓮大聖人の法の信仰者にして、日本の国教とし、国民の総意として【国立戒壇】を建立するとの考えも、同じ【順縁広布】の考え方であります。しかし、人間を含む、森羅万象全ての生命には、生死があり、信心の真心は、御金や物や土地のように固定物として譲渡したり、譲渡されたりは出来ません。信・行・学・折伏は、人生の中で時間を掛けて迷いながら育んでいかなければならないのであります。そうする人が日蓮大聖人の法を信仰する人が世界の全員に常時流布している事は物理的に不可能であります。ましてや、全ての生命は、十界互具で、信じる心、信じない心、迷う心も、気ままに渾然一体となった心、生命を認めた法なのであります。つまり、私達森羅万象の生命は、固定的、不可逆的【順縁広布】は無く、【逆縁】の生命が凡夫本来の生命なのであります。一度信じたら二度と不信の心にはならないという理屈は、現実の私達のありのままの姿では無い机上の空論であります。信者の数を誇り、洗脳、強制、脅し等々が正当化される【順縁】ではなく、信じたり、信じなかつたり、迷つたり、疑つたり、さぼつたり、心変わりを限りなく繰り返しながらも、少しずつ妙法の大切さに自分自身が心を染める

ように目覚めて行くのが私達凡夫一切衆生の、あるがままの心の姿なのであります。つまり、私達が生きる末法萬年の娑婆世界は、【逆縁広布】【逆縁の成仏】だけしか無いのであります。にもかかわらず、【順縁広布】を求め、目指し、目的にすれば、【邪宗撲滅運動】【謗法退治】【地獄に堕ちる、罰が当たる】【邪宗魔神を打ち砕き、衆生の楽土築き行く】といった独善、傲慢、暴力的、折伏も、正法の為には正当化肯定化され、逆に、そうしなければ強信者とは言えない、成仏出来ないという様な強迫観念の集団心理になっていくのであります。そして、広宣流布の世界になれば、争いも犯罪も、戦争も不況も病気も事故も災害も恨み憎しみも無い夢のような世の中が出現するのであると、主張するのであります。広宣流布になろうが、十界互具の人間ですから、地獄、餓鬼、畜生、修羅の生命が消え去り、仏界だけになるという事はありません。今現実に起きている、終わりの見えない戦争も、2000年以上前から【聖書】を基調とした、自分達の解釈は正しく、相手の解釈は狂っているという、怨念、復讐、殺戮等々を正当化した【順縁広布】を目的としているから終わりが無いのであります。例えば、大石寺、創価学会、正信会、一家揃って信仰している家族等々、信仰者だけの組織は、【順縁広布】広宣流布の世界のはずですが、考え方の違い、解釈の違い、方向性の違い、好き嫌い、馬が合う合わない、嘘偽り、憎しみ妬み裏切り、病気、事故、諍い、等々が小さな広宣流布の世界の中なのに現実に起こるのであります。信仰者の集まりの外の社会が謗法邪宗にまみれているから、信仰している集まりにも色々問題が起きるのだと、逆ギレのように主張していますが、そんな屁理屈は通りません。何故でしょう。つまり【順縁広布】は無い、【逆縁広布】しか無いという証明なのであります。

南無妙法蓮華經の法に叶う生き方とは、【汝等皆菩薩の道（法華經の行者として生きる）を行じて、まさに作佛（南無妙法蓮華經の仏性を自他共に自覚する）することを得べし】なのであります。いつでも、どこでも、だれにでも、なんどでも、南無妙法蓮華經を説き伝えて行く、法華經の行者として信・行・学・折伏に励む事が【成仏】であり、【逆縁広布】なのであります。